

■ 巻 頭 言 ■

『巳年の実に向けて』



一般社団法人 埼玉県設備設計事務所協会
会長 金子 和 巳

日頃は当協会に深いご理解とご支援をいただき、あらためて感謝を申し上げます。

今年は巳年、実がなる年とも言われています、真心を込め丹念に育てた実は味わい深く、香りよく美しさが伴います。収穫期を迎える今年が良い年になると信じ、一年間を過ごして行きましょう。

さて、社会全般を見回しますと、政治、経済、国際問題と難しい局面が山積しており、八方塞がりの状況が続いています。そして、足元をみれば我が設備設計事務所協会にも、会員の高齢化が進み、危機感を持たれはじめています。が、しかし当業界全般には、若くて有能な技術者が活躍していることも事実であります。当協会の活動に賛同して頂いている賛助会員の中には建築設備について勉強会を開催する者や、設備設計一級建築士を目指している者も少なくありません。

そう、心配はいつも自分の世代を中心に考えるからで、「20年前はどんな時代だったのだろうか?」「30年前は?」と言ったらどうでしょう、その時々の人たちが先々を心配し、必死に働いてくれたものです。

いつの世代にも先を危惧することは当たり前にあるのです。当然の如く10年先20年先にはその時代に合った業界が存在するものです。

さあ我々も今を大事に!胸を張って行こうではありませんか!

<巳年の実>になるよう!